

～足元から見る“和”～

構成

設置場所は京都の路地裏。和を連想させる下駄の音を楽しんでもらうために、路地の壁面にスクリーンを設置し、歩く時の下駄の音と連動して幾何学な映像が流れる仕組み。壁面のモニターで観光客の興味を引き、下駄の音の良さ、日本の和を「音」で感じ取ってもらう狙い。

技法名

駄写音
(だしゃね)

